

開講科目名 Course	租税法研究演習 1 年 ( 山田先生 ) / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18013
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	山田 麻未
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	4 1 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor ( 担当教員所属名 Affiliation )	山田 麻未 ( 法学部 )
授業の目標	租税法についての基本的事項を理解できるようになるとともに、租税判例についての報告を通じて、判例の読み方を学び、判例を正確に理解できるようになることを目指す。
授業の概要	本演習では、参加者各自が選択した判例について、担当者が報告し、全員での討議を通じて租税法学の研究を深める。
評価方法	報告内容およびゼミへの貢献度等を総合的に勘案して評価する。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	第 1 回・第 2 回 ガイダンス 第 3 回～第 1 4 回 個別の判例報告および基本文献の輪読 第 1 5 回 前期のまとめ 第 1 6 回～第 2 9 回 個別の判例報告 第 3 0 回 後期のまとめ
テキスト	ゼミにおいて指示する。
参考書	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	ゼミの時間内に対応する。
フィードバックの方法	ゼミの時間内に対応する。

予習・復習等、準備学習の内容及び時間	予習及び復習で概ね4時間程度の自己学習を想定している。 報告者は、報告前には自身の報告準備を念入りに行うとともに、報告後はゼミでの報告で指摘された事項を中心にブラッシュアップし、夏休みの課題（小論文作成）に備える。 また、報告1週間前にはゼミ生同士で自主ゼミを行い、報告準備を行う。 報告者以外の者も、報告資料を十分に読み込んで、当日の質疑応答に備えること。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	